

か

わ

さ

き

学校だより

ホームページ

http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kawasaki/

コミュニティ・スクール基本理念

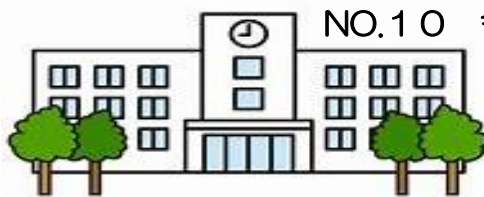
一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

《 9月児童会目標 時間を守ろう 》

川崎小の子どもたちの 学力は・・・パート① ～6年生「全国学力・学習状況調査」の結果から～



NO.10 令和5年9月29日
校長 西口 昌毅

R5年度の「全国学力・学習状況調査」が4月18日に実施されましたが、その結果の集計・分析についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査とは・・・

全国の6年生を対象に実施されています。教科に関する調査は、国語、算数の2教科で実施されました。前学年までに学習した内容が出題され、5年生までに学習したことの定着度を測ります。各教科45分で取り組みます。また、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）もあります。

教科に関する調査の結果【平均正答率(%)】

6年生		R5年度	R4年度
国語	川崎小	61.0%	61.4%
	三重県	67.0%	64.5%
	全 国	67.2%	65.6%
6年生		R5年度	R4年度
算数	川崎小	50.0%	60.6%
	三重県	62.0%	62.2%
	全 国	62.5%	63.2%

R5年度の結果をR4年度と比較して表にしました。全国の結果と比べてみると、R5年度は国語で6.2ポイント、算数で12.5ポイント下回っています。年度によって、問題や受験者が異なるために一概には比較できませんが、全国平均に対して有意に定着の弱さが見受けられます。



% 全国の平均正答率を下回ったもの

国語 問題別に分析してみると・・・

【正答率が高かった内容】

○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。

(川崎小75.6%、全国70.2%)

○漢字【きかん→期間】を文の中で正しく使う。(川崎小73.1%、全国72.6%)

【正答率が低かった内容】

▲図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

(川崎小19.2%、全国26.7%)

△漢字【いがい→意外】を文の中で正しく使う。(川崎小28.2%、全国52.8%)

△日常よく使われる敬語を理解している。(川崎小48.7% 全国57.6%)

△目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる

(川崎小55.1%、全国67.4%)

△必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。(川崎小64.1%、全国74.0%)

一方で、問題の無回答率(答えを書かず、空白のまま提出している割合)は、ほぼすべての問題で全国平均を下回っており、問題に取り組もうという姿勢は感じられました。

ただし、テストの後のアンケートで、問題を解くにあたって「時間が余った」と答えている川崎小の子は、52.4%(全国平均は29.3%)にのぼり、時間が余って余裕があった?にもかかわらず、正しい答えを見つけられなかった様子が想像できます。粘り強く、正しい答えを見い出そうと考え直す姿勢が足らなかったのではないかと推察します。

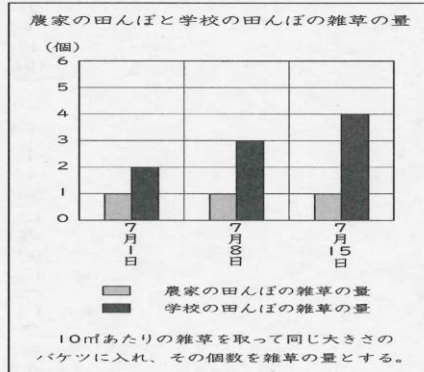
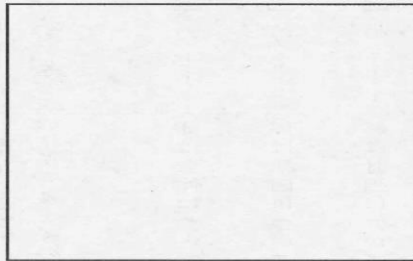
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア이가いに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りの
に入る内容を

- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
 - 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 - 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【カード⑤】

7月21日

[学校でできる解決方法]

- ・ 雑草取りの回数を増やす。
- ・ 雑草取りの人数を増やす。

【カード④】

7月20日

[農家の石山さんのお話]

- ・ 雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- ・ 雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・ 農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

小6国語12の正答率	
川崎小	19.2
全国	26.7

【正答】

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられて収穫が減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。

国語で見えてきた課題

グラフとカード④の、それぞれからわかることを問題点としてまとめ、さらに、その解決方法をカード⑤をもとにして書くという記述問題です。グラフの読み取りや、カードに書かれていることを理解することに加え、前後の文章にうまく挿入できるような表現で60字以上100字以内の文章に整えること、また、接続語を適切に使うことなど、様々な力が必要となる問題です。

問われていることを理解して、条件に合わせて、書くべきことをもらさずに記述することに課題が見られます。

また、他の問題も含め、全体的に問題文が長文であったり、いろいろな情報がたくさん並んでいる中で、その内容を理解して、問われていることに対して適切な個所や言葉を見つけることが苦手なようです。



算数 問題別に分析してみると……

【正答率が高かった内容】

○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。(川崎小87.2%、全国93.5%)

【正答率が低かった内容】

▲高さが等しい三角形について底辺と面積の関係をもとに、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を(川崎小2.6%、全国20.8%)

△正三角形の意味や性質を理解している。(川崎小10.3%、全国24.9%)

△百分率で表された割合を理解している。(川崎小32.1%、全国46.0%)

△示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。(川崎小35.9% 全国56.7%)

△示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる(川崎小38.5% 全国56.2%)

△2位数÷1位数の筆算について、図をもとに各段階の商の意味を考えることができる。(川崎小39.7% 全国47.6%)

算数はどの問題も全国平均を下回り、その差が、10～20ポイントも開いている問題が多数見受けられました。学習指導要領における「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4つの領域から出題されていますが、いずれの領域も定着が不十分です。また、全国平均との差が大きく開いている問題に注目すると、全国的に子どもたちが苦手とする記述問題が、川崎小の子どもたちにとっても大きな課題(問題文を正確に読み取り、条件に合うように記述や選択をすることが苦手)であることに加え、どちらかといえば、ごく基本的で、例年多くの子が正解できであろうはずの問題(小数のかけ算の筆算や、小数のたし算の筆算などの、いわゆる計算問題など)で、川崎小の子どもたちがつまづいている傾向があります。また、無回答率も、国語に比べて高めな傾向が見られました。

テストの後のアンケートで、問題を解くにあたって「時間が余った」と答えている川崎小の子は、53.7%(全国平均は61.7%)にのぼり、時間が余るわりに点数がとれなかったことは、国語と同様に、粘り強く、正しい答えを見い出そうと考え直す姿勢が足らなかったのではないかと推察します。

算数

特に正答率が低かった▲の問題から

小6算数1二の正答率

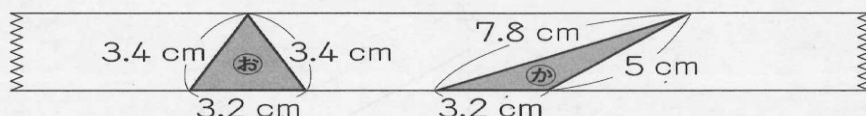
川崎小	2.6
-----	-----

全国	20.8
----	------

【正答】 3

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができる。おとかの底辺は、どちらも3.2cmで等しい。高さは、テープの幅がどこも同じ長さなので等しい。だから、おとかの面積は等しい。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊟と㊦の2つの三角形をつくれます。



上の㊟と㊦の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊟の面積のほうが大きい。
- 2 ㊦の面積のほうが大きい。
- 3 ㊟と㊦の面積は等しい。
- 4 ㊟と㊦の面積は、このままでは比べることができない。

算数で見えてきた課題

この問題も、答えを選択したあと、その理由を説明する記述問題です。その前に、テープの幅はどこも同じであること、そのテープの幅が2つの三角形の高さになることに気付く必要があります。また、三角形の面積を求める公式がわかり、底辺がどれかを見抜く必要もあります。ただ、面積を求める際に不要な数値も書かれていて惑わされる子どももいるかも。やはり、公式が正しく使えることや、数字や算数用語を使って文で説明する力が必要です。

6年生「児童質問紙」調査(アンケート)から・・・

R5年度も、生活習慣や学習環境等に関することを問う「児童質問紙」の調査がありました。R4年度も同様の調査があり、質問項目が若干変更されているものもありますが、昨年度と比較しながら、特に顕著な傾向があるものを表にしました。数値は、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ子どもたちの割合です。

(表の一の部分はデータがないもの)

% 全国平均・県平均を上回ったもの



経年で上がっているもの(5ポイント以上)

% 全国平均・県平均を下回ったもの



経年で下がっているもの(5ポイント以上)



【生活習慣・学習習慣に関すること】

朝食を毎日食べている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	85.4%	93.4%
三重県	93.6%	94.3%
全 国	93.9%	94.4%

毎日同じくらいの時刻に起きる。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	91.5%	89.5%
三重県	90.7%	90.5%
全 国	90.5%	90.4%

毎日同じくらいの時刻に寝る。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	80.5%	80.2%
三重県	80.1%	80.7%
全 国	81.0%	81.5%

起きる時刻、寝る時刻については、おおむね全国・県並みですが、朝ごはんについては、毎日食べている子が目立って少ないです。1日の学習や活動において、朝食は重要です。ぜひ、朝食の習慣づけをお願いします。



【豊かな人間性(自己有用感 地域への関心等)に関すること】

将来の夢や目標をもっている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	80.5%	85.5%
三重県	80.6%	78.3%
全 国	81.5%	79.8%

将来の夢や目標をもつことについては、全国・県並みでした。昨年度と比べても、また、この子たちが5年生の時と比べても(5年生時は86.5%)、下がっているのが残念。

将来



自分には、よいところがあると思う。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	86.6%	79.0%
三重県	81.9%	77.9%
全 国	83.5%	79.3%

先生は良いところを認めてくれている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	96.4%	92.1%
三重県	89.8%	87.0%
全 国	89.8%	87.1%

自己肯定感については、昨年度と比べても、またこの子たちが5年生の時と比べても(5年生時は82.1%)、上昇しています。また、先生からの認められ感も高いようです。これからも、みんなで認め合える集団づくりを大切にしていきます。

いじめはどんな理由があってもいけない。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	98.8%	96.1%
三重県	97.4%	97.1%
全 国	96.9%	96.8%

人の役に立つ人間になりたいと思う。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	98.8%	94.7%
三重県	96.1%	94.9%
全 国	95.9%	95.1%

人が困っていたら進んで助けている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	96.3%	85.6%
三重県	92.3%	89.9%
全 国	91.6%	88.9%



多くの子どもたちが、「いじめを許さない心」を持ち、「人の役に立ちたい」と考えています。また、「困っている人を進んで助けている」ようです。うれしい限りです。

家庭学習の時間は、有意に少ない結果です。この学年の子どもたちは、確か昨年度5年生の時も、家庭でのゲームの時間が長く、学習時間は少ない傾向にありました。要改善です。また、自分で計画を立てて勉強することも、全国・県に及ばず。今後も自主学習の奨励を続けます。「家庭学習の手引き」にありますように、宿題30分+自主学習(学年×10分)を目安に、家庭での声かけをお願いします。

普段(月曜日～金曜日)に1日当たり1時間以上、勉強をする。(塾や家庭教師も含む)	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	40.2%	55.3%
三重県	54.0%	56.5%
全 国	57.1%	59.4%

家で自分で計画を立てて勉強をしている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	65.9%	65.8%
三重県	68.7%	69.5%
全 国	70.7%	71.1%

読書が好き。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	64.7%	79.0%
三重県	70.1%	72.5%
全 国	71.8%	73.1%

普段(月曜日～金曜日)1日あたり30分以上、読書をする。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	24.4%	36.8%
三重県	34.2%	34.0%
全 国	37.3%	36.4%

読書の時間も少ない傾向に。図書館に通う頻度は週に1～4回以上と、全国・県に比べても高めなのですが・・・読書好きの子がもっと増えてほしいです。川崎小では1年間一人100冊借りて読むことを目標にしています。是非ご家庭でも「読書の秋」を。



新しい質問項目もありました。「友達満足度」や「幸せな気持ち」に関する問いです。全国・県よりは多いですが、肯定的に答えられなかった子どもたちも一定数いることを心に留めておくべきだと考えています。

友達関係に満足している	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	93.9%	—
三重県	90.3%	—
全 国	90.3%	—

普段の生活の中で、「幸せな気持ち」になることが、よくある。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	61.0%	—
三重県	50.7%	—
全 国	49.9%	—



【学校生活、授業等の教育活動に関すること】

学校へ行くのは楽しい。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	87.8%	86.8%
三重県	84.0%	85.0%
全 国	85.3%	85.4%

学校が楽しいのが何よりです。全国・県を少し上回っています。ただし、楽しくないと感じている子どももあり、今後も居心地の良い学校づくり・学級づくりを強く意識する必要があります。

算数の勉強は好き。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	54.9%	61.8%
三重県	62.0%	63.2%
全 国	61.4%	62.5%

算数が好きな子が増え、算数の授業理解度も下がっています。子どもたちが興味をもち、わかりやすい授業の工夫が必要です。

算数の授業内容はよくわかる。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	75.6%	80.2%
三重県	83.3%	82.3%
全 国	81.2%	81.2%

国語の勉強は好き。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	62.2%	54.0%
三重県	57.2%	57.5%
全 国	61.5%	59.2%

国語が好きな子は、増加傾向に。国や県をちょっぴり追い抜きました。ただし、昨年5年生時は約7割の子が好きと答えていました。また、国語の理解度は、全国・県と比べるとやや少ないです。引き続き、意欲的に取り組めるような言語活動の工夫が必要です。

国語の授業内容はよくわかる。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	82.9%	81.6%
三重県	86.1%	84.3%
全 国	85.7%	84.0%

英語の勉強は好き。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	61.0%	—
三重県	68.6%	—
全 国	69.3%	—

英語の勉強は、苦手な子が多いようです。一方、教科にかかわらず、「先生はわかるまで教えてくれる。」と思っている子は9割以上います。引き続き、子どもたちに力をつけるべく、丁寧に粘り強く指導していくことに努めます。

先生はわかるまで教えてくれる。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	95.2%	—
三重県	94.3%	—
全 国	93.0%	—

総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め、調べたことを発表する活動に取り組んでいると思う。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	74.3%	76.3%
三重県	66.7%	64.5%
全 国	74.8%	72.7%

総合的な学習の時間については、概ね全国並みの回答でした。総合的な学習の時間では、今年度も主に地域関連学習を中心に進め、学校研修の中心として、先生も子どもとともに研究中です。川崎には、多くの歴史や文化、地域の人々の活動などがあります。それらを教材化して、いろいろな学びにつなげていきたいです。地域の方々や保護者の方々の協力をいただきながら、これからも、地域を学び、地域を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	78.0%	82.9%
三重県	79.1%	77.6%
全 国	78.8%	77.3%

この項目は昨年度比で減少。全国・県並みの結果でした。課題を見つけ、それを解決するという学習活動は、どの教科でも重要視されることです。そのための知識や技能、情報の集め方や分析の仕方、そして人と話し合うことや自分の考えを作り上げていくことができるような力がつくよう、今後も様々な場面を設定していきたいと思えます。

友達との話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	79.3%	84.2%
三重県	81.4%	78.6%
全 国	81.8%	80.1%

話し合い活動により学びが深まることこそが、集団で学ぶことの良さの一つだと思います。その良さをもっと子どもたちに感じさせるような場面づくりが必要です。ただし、友達と議論したり、議論したりすることに楽しさを感じている子が増えていることは良い傾向だと考えています。

自分と違う意見について考えるのは楽しい。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	79.3%	68.4%
三重県	76.3%	73.1%
全 国	76.5%	73.5%

自分の考えを発表するとき、うまく伝わるよう工夫している。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	58.5%	55.2%
三重県	63.0%	63.6%
全 国	63.7%	65.4%

学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	86.6%	61.8%
三重県	73.8%	68.8%
全 国	77.2%	73.5%

発表の際の工夫に関しては、まだまだ全国・県には追いつかず。しかし、学級会など、自分たちの生活をよりよくするための話し合い活動については、大きい伸びが感じられます。教科学習の場面はもちろんですが、生活の中で課題を見つけ、対話の中から解決を目指す場面を意図的に作っていくことに引き続き努めます。

今住んでいる地域の行事に参加している。	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	79.3%	71.1%
三重県	64.4%	58.3%
全 国	57.8%	52.7%

地域行事への参加は、全国・県と比べて、明らかに高いです。また、新型コロナの影響下においても少しずつ行事等の再開が進んできたことがあるためか、昨年度より数値が上がっています。

地域や社会をよくするために何かしてみたい。※R4年度の問いは、「何をすべきか考える。」	R5年度 6年生	R4年度 6年生
川崎小	78.0%	32.9%
三重県	77.9%	50.2%
全 国	76.8%	51.3%

また、地域や社会をよくするために何かしてみたいという思いを多くの子がもっていることに頼もしさを感じます。今後も総合的な学習の時間や生活科を中心に、地域関連学習を充実させ、地域を愛する子どもたちに育ててほしいと願っています。

